

# 笠コンフレーム

NETIS CB-990025-V

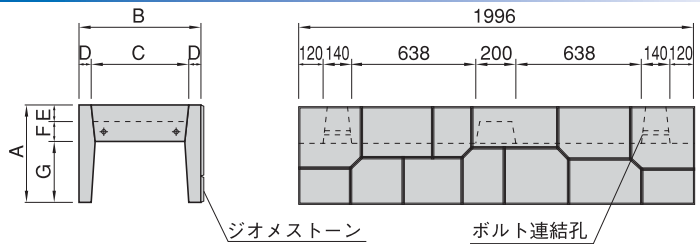
## 特長

1. 工期の短縮が可能です 型枠が不要で、さらに作業の機械化ができます。
2. 陸地側からすべて施工が可能 水位、流速、流量、風速に影響されません。
3. 景観にも対応できます
4. 省資源ができます 型枠の木材などが不要です。
5. 広幅鋼矢板にも対応が可能です



## 寸法仕様

### 標準タイプ



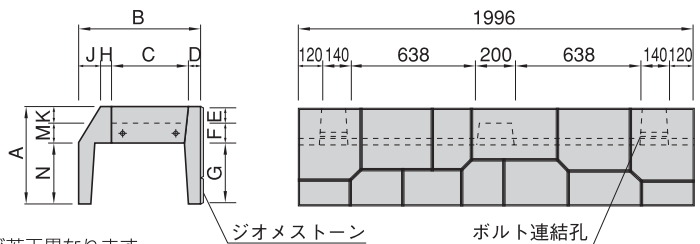
サイズ		寸法仕様 (mm)					参考質量 (kg)	現場打ち コンクリート量 空m	適用する矢板										
A	B	C	D	E	F	G			I A	II	IIA	IIW	III	III A	IIIW	IV	IV A	IVw	VL
400	500	380	60	60	90	250	310	0.278	○	○	○								
400	550	430	60	60	90	250	320	0.315		○●	○	○	○						
450	550	430	60	60	90	300	360	0.357		○●	○	○	○						
500	600	480	60	80	110	310	420	0.438			○●	○●	○●	○					
500	700	580	60	80	110	310	430	0.531						○●	○●	○●	○	○	
600	700	580	60	80	110	410	500	0.645						○●	○●	○●	○	○	
600	800	680	60	80	110	410	520	0.758								○●	○●	○●	○●

※上記の適用表は矢板工における許容値に基づく適用参考例です。上記以外の適用についてはお問い合わせ下さい。

※質量は表面模様付きの質量を示しています。

○＝農林水産省基準工事 ●＝国土交通省基準工事

### 法止タイプ



(ご注意) 上図はサイズ500×610を示します。400×500は形状が若干異なります。

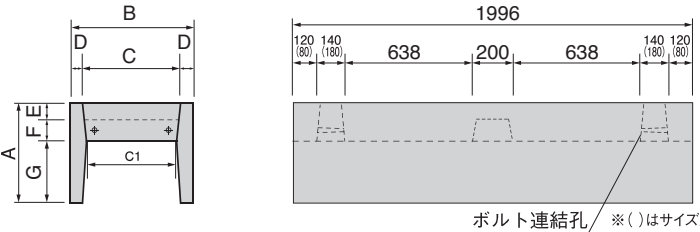
サイズ		寸法仕様 (mm)											参考質量 (kg)	現場打ち コンクリート量 空m	適用する矢板										
A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	M	N	I A			II	IIA	IIW	III	III A	IIIw	IV	IV A	IVw	VL	VIL
400	500	372	60	60	90	250	23	45	0	68	272	285	0.284	○	○	○									
500	610	400	60	80	110	310	50	100	80	120	300	470	0.409			○●	○●	○●	○						
500	700	490	60	80	110	310	50	100	80	120	300	480	0.493						○●	○	○●	○			
600	800	590	60	80	110	410	50	100	80	120	400	560	0.718								○●	○●	○●	○●	

※上記以外の法勾配で使用する場合はお問い合わせ下さい。

※質量は表面模様付きの質量を示しています。

○＝農林水産省基準工事 ●＝国土交通省基準工事

### 塩害対応タイプ



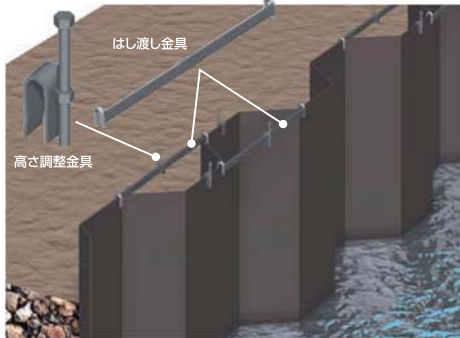
サイズ		寸法仕様 (mm)						参考質量 (kg)	中詰め コンクリート量 (m <sup>3</sup> /本)	適用参考例													
A	B	C	C1	D	E	F	G			U形鋼矢板											ハット形鋼矢板		
									IA	II	IIA	IIW	III	III A	IIIW	IV	IV A	IVW	VL	VIL	10H	25H	
500	700	480	460	110	80	110	310	640	0.44	●	●	●	●	●								●	
500	800	580	560	110	80	110	310	660	0.53						●	●	●						●
500	900	680	660	110	80	110	310	680	0.62						●	●	●						●
600	700	480	460	110	80	110	410	750	0.53	●	●	●	●	●									●
600	800	580	560	110	80	110	410	770	0.65						●	●	●						●
600	900	680	660	110	80	110	410	790	0.76						●	●	●						●
700	700	480	460	110	80	110	510	870	0.63	●	●	●	●	●									●
700	800	580	560	110	80	110	510	880	0.76						●	●	●						●
700	900	680	660	110	80	110	510	900	0.89						●	●	●						●
800	800	580	540	110	100	140	560	1080	0.84			●	●	●	●	●	●						●
800	900	680	640	110	100	140	560	1100	0.99			●	●	●	●	●	●						●
800	1000	780	740	110	100	140	560	1130	1.14														●

※上記表は、矢板工における施工管理基準(±100mm)に基づく適用参考例です。上記以外の適用についてはお問い合わせ下さい。 ※質量は表面模様無しを質量を示しています。

# 笠コンフレーム

## 施工手順

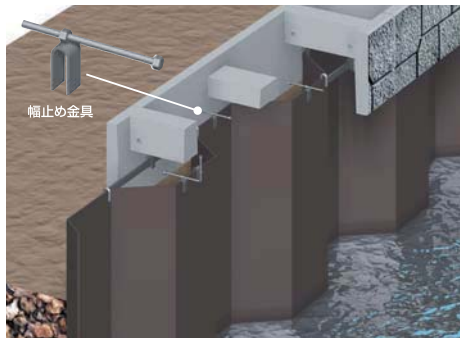
### ① 高さ調整金具・はし渡し金具の取り付け



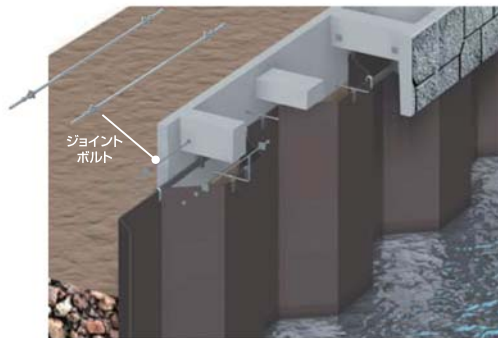
### ② 製品据え付け



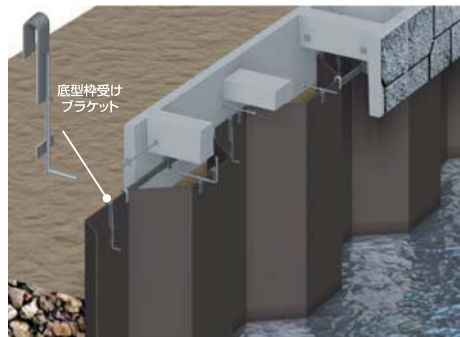
### ③ 幅止め金具の取り付け



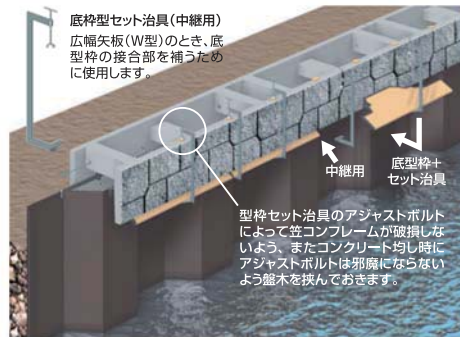
### ④ ジョイントボルトの取り付け



### ⑤ 底型枠受けブラケット取り付け



### ⑥ 底型枠の取り付け



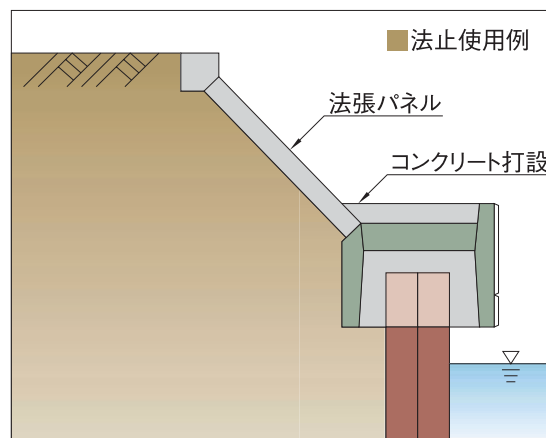
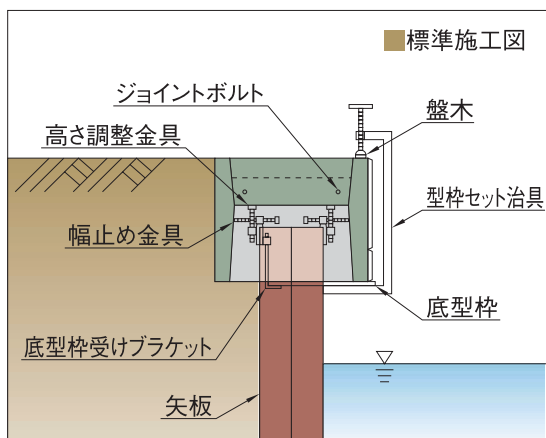
### ⑦ コンクリート打設



### 施工用吊り金具



## 施工断面図



## 施工歩掛

(100m 当り) ご注意

名称	単位	数量(型枠あり)
世話役	人	4.8
特殊作業員	人	2.2
普通作業員	人	20.2
型枠工	人	1.5
ラフテレーンクレーン運転	日	4.0
諸雑費率	%	29

- 左表の労務歩掛は、高さ調整金具取付、ブロック連結、中詰めコンクリート打設(型枠が必要な場合は、型枠設置・撤去)、養成等の労務を含みます。
- 本歩掛は、運搬距離30mまでの小運搬を含んでいますが、これにより難しい場合は別途考慮します。
- ラフテレーンクレーンは賃料とします。
- 諸雑費は、労務費、機械賃料の合計額に左表の率を乗じた金額を上限として計上します。なお、諸雑費に含まれる内容は次の通りです。  
[諸雑費] 基礎碎石の敷設・転圧労務、基礎碎石の材料投入労務・締め機械運転経費、電力に関する経費、型枠特上(下)機械経費、パイプレータ・コンクリートバケット・電気ノコギリ・電気溶接機等損料、碎石・調整金具・連結金具・目地材・溶接棒・型枠材・剥離材等の材料費
- 諸雑費は、基礎碎石の有無によらず適用できます。ただし、敷均厚は、10cm以下を基準とします。
- 諸雑費の基礎碎石は、材料の種別・規格に関わらず適用できます。
- 国土交通省土木工事積算基準笠コンクリートブロック据付工を引用しています。

